

株式会社日本触媒

化学物質管理や労働安全衛生に関する情報発信

キーワード
レスポンシブル・ケア、情報発信

基本情報

企業名	株式会社日本触媒
事業所名	川崎製造所 千鳥工場
業種	化学工業
従業員数	245名（2024年2月時点）
自主管理優先物質	酸化エチレン
事業概要	高吸水性樹脂・洗浄剤・塗料・電池材料の製造

背景・課題

レスポンシブル・ケア委員会への参画

- 日本レスポンシブル・ケア協議会（現・レスポンシブル・ケア委員会）が発足した1995年当時から参画し、ISO14001やISO9001、OSHMSを導入して環境保全や労働安全衛生への取り組みを積極的に実施。

化学物質対策への意識

- 従来からPRTR対象物質の排出量削減に力を入れ、ホウ素や酸化エチレン等の排出量が多い物質から優先的に取組み。今後は大防法の動向を踏まえてバナジウム化合物の排出削減にも注力していく予定。

取組

RCニュースの作成・公開

- 化学物質管理や労働安全衛生に関する法令の改正内容やPRTR対象物質の排出量等の情報を取りまとめたRCニュースを発行し、従業員への教育に活用。また、自社グループ内だけでなく関連会社にも配布し、積極的に情報を発信。



効果

化学物質管理に関する取組の周知

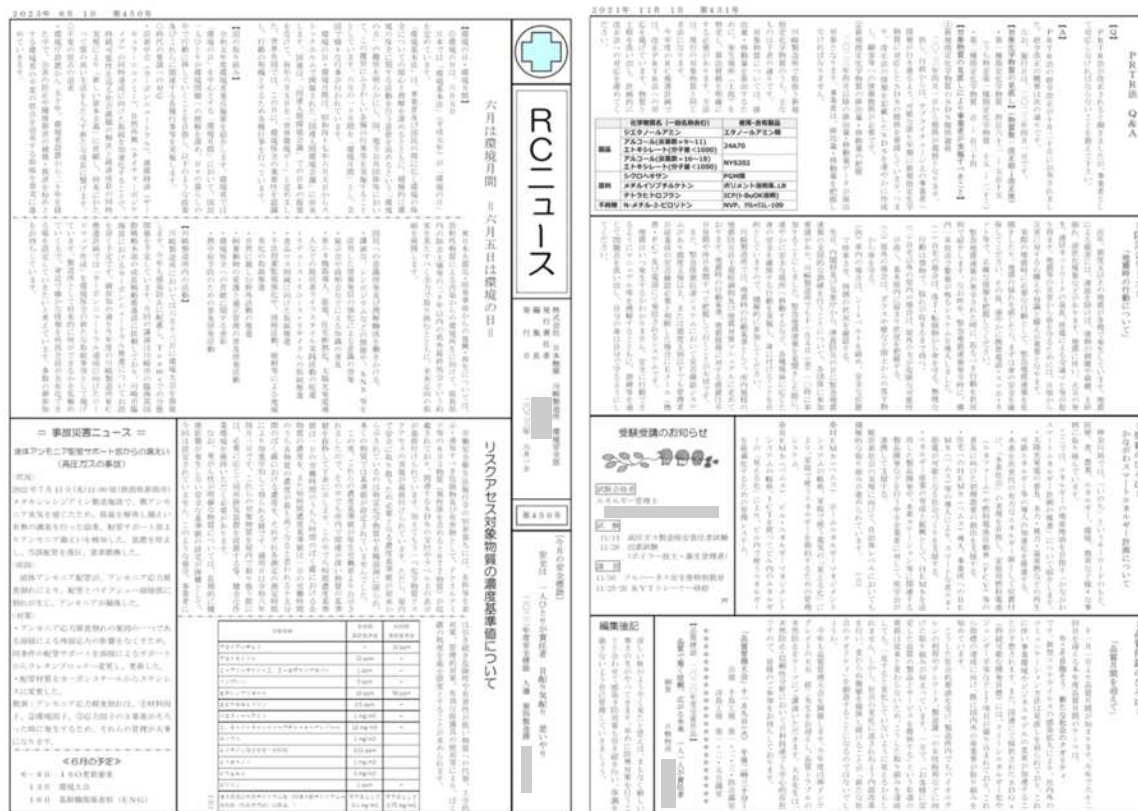
- 製造所が実際に受ける影響や必要とされる動き、留意すべき事項を従業員が理解する助けとなっている。

株式会社日本触媒

化学物質管理や労働安全衛生に関する情報発信

取組詳細

- 月に1度、環境問題のトレンド情報をRCニュース（A3裏表）に取りまとめ、自社内や関連会社に配布し、教育や情報発信に活用。
- 化学物質に関連する内容の掲載例は以下のとおり。
 - 例1) 化管法改正による事業者の対応について（2021年11月発行）
令和5年度の化管法改正でPRTR対象物質が515物質に増えることに伴い、事業者に求められる対応について解説。**事業所内で取り扱っている新規対象物質名を掲載し、それらの排出量・移動量の把握やSDS作成の計画的な実施を促している。**
 - 例2) リスクアセスメント対象物質の濃度基準値について（2023年6月発行）
令和6年よりリスクアセスメント対象物質の濃度基準値が定められ、労働者のばく露濃度を基準値以下にすることが求められることを周知。**事業所内で取り扱っている物質の濃度基準値を掲載し、局所排気装置の設置や有効な保護具の使用等の対応の必要性について啓発している。**



工夫点

読みやすさ・わかりやすさを追究

事業所内で取り扱いのある物質について取り上げることで、法改正による影響をわかりやすく周知

Q&A形式の解説を取り入れて周知したい内容を端的に表現